

らの雨水流入が崩壊の原因であると推察される。上部作業道の流水跡を詳細に確認すると、コンクリート排水溝の側部が若干の凹地となっていることから、排水溝を流れなくなった雨水がコンクリートより柔らかな路面部を侵食し凹地を形成したことにより、まとまった降雨の度に微地形ではあるが凹地が拡大し、豪雨時の雨水の流入を促し下方斜面の崩壊に至ったものと考えられる。

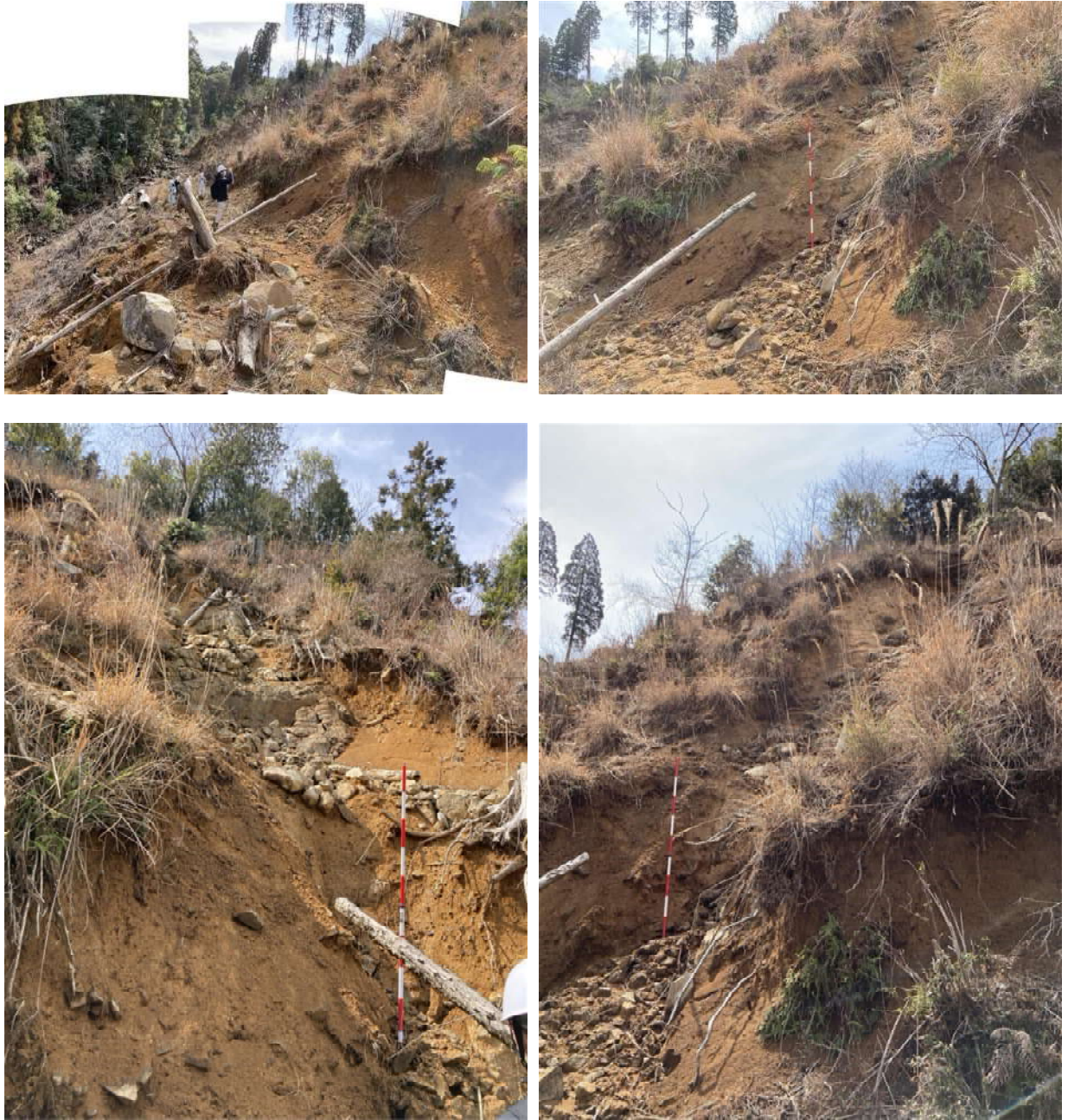


写真 3.6 崩壊地④の状況